

豊島区子どもの実態・意識に関する調査

(調査ご協力のお願い)

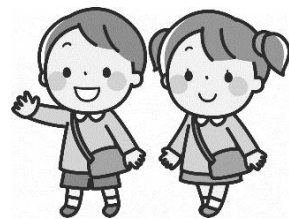
区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

豊島区では、子どもの健やかな成長や子育てを支える施策の推進のために、「豊島区子どもの権利に関する条例」の視点も加えた「豊島区子ども・若者総合計画」(令和2年～6年)を策定しました。本計画が来年度期間満了を迎えることに伴い、計画改定の基礎資料とさせていただきますため、区民の皆様の子育てに関する生活実態やニーズについて調査を実施いたします。

この調査は、住民基本台帳に登録されている小学校就学前(0歳～5歳)のお子さんの保護者の中から無作為に1,500名の方を選び、回答をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、今後の本区の施策を進めていくための基礎資料にのみ使用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。



令和5年11月 豊島区子ども家庭部子ども若者課



【記入にあたってのお願い】

1. 封筒のあて名のお子さんについて、お答えください。
2. このアンケートで「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、あてはまる選択肢に○をつけるものと、枠内に記入するものがあります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは**令和5年11月16日(木)まで**に同封の返信用封筒に入れて、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》

豊島区 子ども家庭部 子ども若者課 管理・計画グループ 電話：03-4566-2471

※英語・中国語・韓国語の調査票を希望される方は、区役所の子ども若者課の窓口に取りに来てください。

*For those who would like an English, Chinese or Korean questionnaire, please come to the Children and Youth Section at the City Office.

※如希望使用英文、中文或韩文版的调查表，请前往区政府的孩子・年轻人课窗口索取。

※영어·중국어·한국어 조사표를 희망하시는 가가, 가가 가가가·가가가가·가가가가 가가가가 가가가가 가가가가.

(案)

最初に、あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問 1 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月 生まれ



問 2 あて名のお子さんの性別をご記入ください。

問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
(1つに○)

1 母 親	2 父 親	3 その他 ()
-------	-------	-----------

問 4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1 配偶者がいる	2 配偶者はいない
----------	-----------

問 5 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1 父母ともに	3 主に父親	5 その他
2 主に母親	4 主に祖父母	()

問 6 あて名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなして合計人数を書いてください。

人(あて名のお子さんを含めて)

問 7 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。
(1つに○)

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人以上
------	------	------	--------

問 8 一番大きいお子さん(長子)と一番小さいお子さん(末子)の年齢を平成 30 年 4 月 1 日現在でお書きください。お子さんが一人だけ(あて名のお子さんのみ)の場合は記入する必要はありません。

一番大きいお子さん 歳 一番小さいお子さん 歳

問 9 あて名のお子さん同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください(続柄はあて名のお子さんからみた関係)。

なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。

(「近く」とはおおむね 30 分以内で行き来できる範囲のこと)

1 父母同居	4 祖父同居	7 祖父のみ近くに居住
2 父親同居(ひとり親家庭)	5 祖母同居	8 祖母のみ近くに居住
3 母親同居(ひとり親家庭)	6 祖父母が近くに居住	9 その他 ()

(案)

問 10 お住まいのまちはどちらですか。(1つに○)

1 駒込	7 東池袋	13 高田	19 要町
2 巣鴨	8 南池袋	14 目白(1・2丁目)	20 高松
3 西巣鴨	9 西池袋	15 目白(3～5丁目)	21 千川
4 北大塚	10 池袋	16 南長崎	
5 南大塚	11 池袋本町	17 長崎	
6 上池袋	12 雑司が谷	18 千早	

問 11 豊島区に、通算何年お住まいですか。(1つに○)

1 1年未満	3 6年～10年	5 16年～20年
2 1年～5年	4 11年～15年	6 21年以上

問 12 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 親(または配偶者の親)の代からずっと	5 本人(または配偶者)の通勤に便利
2 親(または配偶者の親)の介護等のため	6 子どもの通学に便利
3 保育所や幼稚園等、子育ての環境がよい	7 山手線や地下鉄等に近く何かと便利
4 小学校等の教育環境がよい	8 その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは・・・

- フルタイム = 1週5日程度・1日8時間程度の就労
- パート・アルバイト等 = フルタイム以外の就労

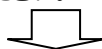


問 13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

項 目	それぞれ1つに○	
	母親※	父親※
1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6 これまで就労したことがない	6	6

※「母親」の欄は父子家庭の場合、記入は不要です。また「父親」の欄は母子家庭の場合、記入は不要です。

※保護者が「自営業、家族従事者」の場合は、従事している平均的な就業時間で「フルタイム」か「パート・アルバイト等」のいずれかを判断して該当欄に記入してください。



※以下、問 14 まで「自営業、家族従事者」の場合は、設問中の用語の「就労」を「就業」とみなしてお答えください。また、平均的な「就業時間」より「フルタイム」か「パート・アルバイト等」のいずれかを判断して該当欄に記入してください。

(案)

◆問 13-1 は、問 13 の「母親」または「父親」で「1」～「4」（就労している）とお答えの方にはうかがいます

問 13-1 週のおおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【母親】（父子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24 時間制（例：午後 5 時⇒**17 時**）で記入してください。

ア 1 週あたり平均就労日数		日
イ 1 日あたり平均就労時間		時間
ウ 家を出る時間		時 帰宅時間 時 ※24 時間制で記入
エ 土曜日の就労	1 毎週休み	2 月に 日就労
オ 日曜日・祝祭日の就労	1 すべて休み	2 時々就労 3 ほとんど就労
カ 通勤時間（片道）	1 なし	4 30 分～1 時間未満
	2 15 分未満	5 1 時間～1 時間 30 分未満
	3 15 分～30 分未満	6 1 時間 30 分以上

【父親】（母子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24 時間制（例：午後 5 時⇒**17 時**）で記入してください。

ア 1 週あたり平均就労日数		日
イ 1 日あたり平均就労時間		時間
ウ 家を出る時間		時 帰宅時間 時 ※24 時間制で記入
エ 土曜日の就労	1 毎週休み	2 月に 日就労
オ 日曜日・祝祭日の就労	1 すべて休み	2 時々就労 3 ほとんど就労
カ 通勤時間（片道）	1 なし	4 30 分～1 時間未満
	2 15 分未満	5 1 時間～1 時間 30 分未満
	3 15 分～30 分未満	6 1 時間 30 分以上

◆問 13-2 は、問 13 の「母親」または「父親」で、「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労）とお答えの方にはうかがいます

問 13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。

項 目	それぞれ 1 つに○	
	母親	父親
1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

(案)

◆問 13-3 は、問 13 の「母親」または「父親」で、「5」または「6」（就労していない）とお答えの方に
うかがいます

問 13-3 就労したいという希望はありますか。

【母親】（就労希望と希望する就労形態それぞれ 1 つに○）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1 年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
- 3 すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

⇒希望する
就労形態

- ア フルタイム
イ パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）
⇒1 週あたり 日 1 日あたり 時間

【父親】（就労希望と希望する就労形態それぞれ 1 つに○）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1 年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
- 3 すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

⇒希望する
就労形態

- ア フルタイム
イ パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）
⇒1 週あたり 日 1 日あたり 時間

◆問 13-4 は、問 13-3 の「母親」または「父親」で、「2」または「3」とお答えの方にうかがいます

問 13-4 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

項 目	それぞれ 1 つに○	
	母親	父親
1 保育園などの保育サービスが受けられないため	1	1
2 子育てしながら働ける適当な仕事がないため	2	2
3 自分の知識や能力に合う仕事がないため	3	3
4 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られないため	4	4
5 その他（具体的に ）	5	5

問 14 あて名のお子さんの時に利用された育児休業は、誰がどれくらい利用しましたか。母親と父親の両方が利用した場合は、両方に○をつけてください。

また、利用された方が職場復帰した時のお子さんの月齢をご記入ください。

1	母親が利用した	取得期間→	か月	
	⇒職場復帰した時のお子さんの月齢	か月	例) 1 歳 6 か月なら 18 と記入	
2	父親が利用した	取得期間→	か月	
	⇒職場復帰した時のお子さんの月齢	か月	例) 1 歳 6 か月なら 18 と記入	
3	利用しなかった			
4	制度がなかった			

(案)

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（1つに○）

1 利用している

2 利用していない（→問 15-4 へ）

問 15-1 あて名のお子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
また、現在の利用状況と今後の利用意向をご記入ください。時間は必ず 24 時間制でお願いいたします。なお、実施場所については下記地区一覧から選んでください。

【実施場所一覧】

1 駒込	8 南池袋	15 目白(3～5丁目)	31 新宿区	41 その他
2 巣鴨	9 西池袋	16 南長崎	32 文京区	※区市町村名を記入してください
3 西巣鴨	10 池袋	17 長崎	33 北区	
4 北大塚	11 池袋本町	18 千早	34 板橋区	
5 南大塚	12 雑司が谷	19 要町	35 練馬区	
6 上池袋	13 高田	20 高松		
7 東池袋	14 目白(1・2丁目)	21 千川		



あてはまる番号のすべてに○をつけ、現在の利用状況と今後の希望の利用について記入してください。

施設・サービスの種類	項目	現在利用している	今後の希望
1 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1 週あたり	日	日
	1 日あたり	時間 () 時～() 時	時間 () 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
2 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1 週あたり	日	日
	1 日あたり	時間 () 時～() 時	時間 () 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
3 認可保育所 (国が定める基準に適合した施設で東京都の認可を受けた定員20人以上のもの)	1 週あたり	日	日
	1 日あたり	時間 () 時～() 時	時間 () 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
4 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	1 週あたり	日	日
	1 日あたり	時間 () 時～() 時	時間 () 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区

(案)

施設・サービスの種類	項目	現在利用している	今後の希望
5 小規模保育施設 (対象年齢0～3歳未満、豊島区が審査確認し認可施設として設置した定員6～19人の施設)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
6 家庭的保育 (対象年齢0～3歳未満、家庭的な雰囲気のもとで、5人以下の子どもを保育する事業)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
7 事業所内保育施設 (事業所の保育施設などで従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する施設)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
8 認証保育所 (認可保育所ではないが、東京都が認証した施設)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
9 企業主導型保育 (企業が従業員の働き方に応じて設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
10 その他の認可外保育施設	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
11 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの自宅で保育する事業)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
12 ファミリー・サポート・センター (ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業)	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区
13 その他 ()	1週あたり	日	日
	1日あたり	時間	時間
		() 時～() 時	() 時～() 時
	実施場所	() 地区	() 地区

◆問15-2は、問15で「1. 利用している」とお答えの方へうかがいます

問15-2 利用している理由は何ですか。(1つに○)

＜お子さんの身の回りの世話を主にしている人が＞	
1 現在就労している	5 学生である
2 就労予定がある／求職中である	6 1～5までの事情はないが子どもの教育や発達のため
3 家族・親族等の介護	7 その他()
4 病気や障害をもっている	

(案)

◆問 15-3 は、問 15-1 で「1 幼稚園（通常の就園時間）」と「2 幼稚園の預かり保育」とお答えの方にかがいます

問15-3 幼稚園の在園時間、入園理由についてご記入ください。（時間は24時間制でお書きください）

ア 在園時間	時 分～ 時 分まで
イ 入園理由 (1つに○)	1 はじめから幼稚園に入れようと思っていた 2 預かり保育で希望時間まで預けられる 3 保育園に入れたかったが、入園できる条件に合わなかった 4 保育園に申し込んだが、入れなかった 5 その他（ ）

◆問 15-4 は、問 15 で（現在）「2 利用していない」とお答えの方にかがいます

問15-4 現在幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。（1つに○）

1 （子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）必要がない 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3 近所の人や友人・知人がみている 4 利用したいが、保育サービスに空きがない 5 利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない 6 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない 7 利用したいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない 8 子どもがまだ小さいため 歳くらいになったら利用しようと考えている 9 その他（ ）

【すべての方にかがいます】

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。**重視する順番が高い方から5つを選んで**例に示すようにその順番を記入してください。なお、③と④を選ばれた方は、該当欄に○をつけ、点線内も記入してください。

例	記入	選択項目	例	記入	選択項目
1		①自宅の近く			②子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること
		③職場の近く			④駅の近く
		ア 職場が区内			ア 自宅からの最寄り駅（ ）駅
		イ 職場が区外			イ 職場（学校）からの最寄り駅（ ）駅
					ウ その他（ ）
2		⑤兄弟姉妹が通っている			⑥延長保育に対応している
		⑦夜間や休日保育に対応している			⑧乳児保育を実施している
		⑨病児や病後児の対応を行っている			⑩施設・設備が整っている
3		⑪送迎サービスを行っている			⑫給食を提供している
		⑬地域の評判がよい	5		⑭保育料が安い
		⑮行事が充実している			⑯園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい
4		⑰保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している			⑱その他 （ ）

(案)

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	【事業】	【保育料】
1	幼稚園 通常の就園時間の利用	豊島区立幼稚園は1万円/月（お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて減免措置あり）、私立幼稚園は施設により異なります。
2	幼稚園の預かり保育 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	区立幼稚園は5千円/月、私立幼稚園は施設により異なります。
3	認可保育所 国が定める基準に適合した施設で、東京都の認可を受けた定員20人以上のもの	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
4	認定こども園 幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
5	小規模保育施設 対象年齢0～3歳未満、豊島区が審査確認し認可施設として設置した定員6～19人の施設	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
6	家庭的保育 対象年齢0～3歳未満、家庭的な雰囲気のもとで、5人以下の子どもを保育する事業	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
7	事業所内保育施設 事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する施設	各施設により異なります。
8	認証保育所 認可保育所ではないが、東京都が認証した施設	各施設により異なります（認可保育所との差額について補助あり）。
9	企業主導型保育 企業が従業員の働き方に応じて設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設	各施設により異なります。
10	その他の認可外保育施設	各施設により異なります。
11	居宅訪問型保育 ベビーシッターのような保育者が子どもの自宅で保育する事業	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
12	ファミリー・サポート・センター ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業	平日（7:00-19:00）が800円/1時間。
13	その他 ()	

◆問 17-1 は、問 17 で「1 幼稚園」または「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～13 のいずれかにも○をつけた方にうかがいます

問17-1 1～13の事業の中で、特に幼稚園（預かり保育を合わせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

1 はい	2 いいえ
------	-------

(案)

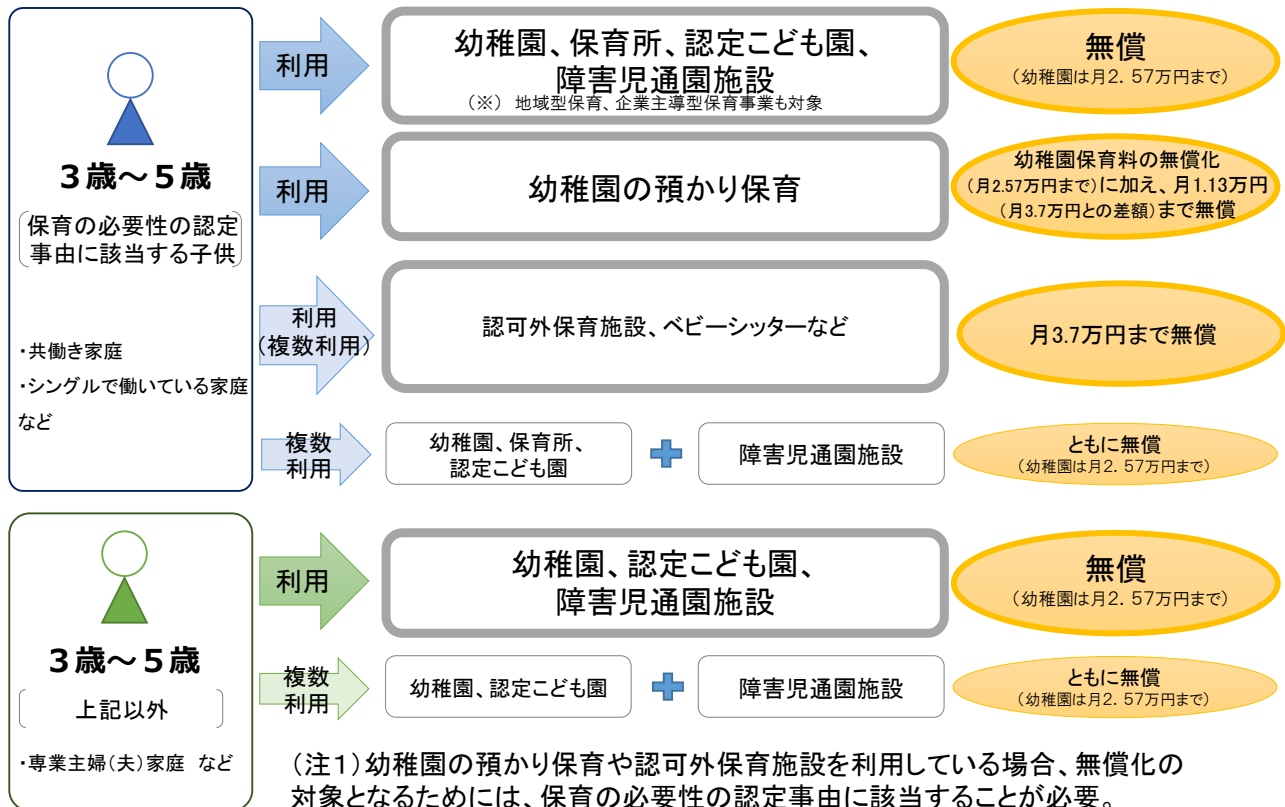
【すべての方にうかがいます】

子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ変えていくため、2019年10月から幼児教育・保育の無償化が開始される予定です。なお、無償化の範囲や上限額は、お子さんの年齢やご家庭の状況により異なります。

参考

～～幼児教育の無償化のイメージ～～

：内閣府資料（平成30年9月現在）より



住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となる。この場合、月4.2万円まで無償。

（注2）上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る（ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける）。

問18 無償化が実施された場合、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまるものをお答えください。無償化の前後で希望が変わらない場合は、問17で選択した番号をそのままお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1 幼稚園	8 認証保育所
2 幼稚園の預かり保育	9 企業主導型保育
3 認可保育所	10 その他の認可外保育施設
4 認定こども園	11 居宅訪問型保育
5 小規模保育施設	12 ファミリー・サポート・センター
6 家庭的保育	13 その他（ ）
7 事業所内保育施設	

※各事業の詳細は、問17（9頁）の選択肢を参照してください。

(案)

保育所探しの状況についてうかがいます

問 19 あなたは、あて名のお子さんを預けるため、この1年間で保育所探しを行いましたか。(1つに○)

1 探した・探している

2 保育所探しはしていない(→問 19-2 へ)

→ 問 19-1 保育所探しの結果、どのようになりましたか。(1つに○)

1 認可保育所に入園した

9 幼稚園に入園した

2 認定こども園に入園した

10 保護者都合で保留している

3 小規模保育施設に入園した

(育休手当等)

4 家庭的保育を利用することになった

11 どこにも入れず、現在も探している

5 居宅訪問型保育を利用することにした

12 保育の利用はあきらめた

6 事業所内保育施設に入園した

13 結果待ち

7 認証保育所に入所した

14 その他()

8 認可外保育施設に入所した

◆問 19-2 は、問 19 で「2 保育所探しはしていない」とお答えの方についてうかがいます

問 19-2 保育所を探していない・探さなかった理由は何ですか。(1つに○)

1 必要がない

5 入園した幼稚園の預かり保育で十分

2 保育所の利用をあきらめている

6 入園した幼稚園を継続するつもり

3 これから探そうと思っている

7 その他()

4 子どもがまだ小さい

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等についてうかがいます

問 20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業)を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

1 子ども家庭支援センターの親子遊び広場

1 週あたり 回

もしくは1か月あたり 回程度

2 子育てひろば

1 週あたり 回

もしくは1か月あたり 回程度

3 その他()

1 週あたり 回

もしくは1か月あたり 回程度

4 利用していない



◎子ども家庭支援センターの親子遊び広場とは・・・

子ども家庭支援センター内に、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりすることができる部屋があります。豊島区では東部「とわむ」と西部「とむとむ」の2箇所があります。

◎子育てひろばとは・・・

区内各地区に開設されている区民ひろばや子育てひろば事業を行っている私立保育所などで専用のスペースを確保し、乳幼児や保護者が開館時間内はいつでも利用できるようにしています。手遊び、体操などの簡単なプログラムや、保育士等の職員による育児相談も実施しています。

(案)

問 21 問 20 のような地域子育て支援拠点事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いますか。

また、おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（1 つに○。また数字は一枠に一字。）

1	利用していないが、今後利用したい 1 週あたり 回 もしくは 1 か月あたり 回
2	すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 1 週あたり更に 回 もしくは 1 か月あたり更に 回
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

あて名のお子さんの土曜・日曜や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 22 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（曜日ごとにそれぞれ 1 つに○。また数字は一枠に一字。）

※ 定期的な保育・教育事業とは、問 15-1（6 頁）に示す事業で幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

ア 土曜日	1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に 1～2 回は利用したい	} 利用したい時間帯 () 時～ () 時まで
イ 日曜日・祝日	1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に 1～2 回は利用したい	} 利用したい時間帯 () 時～ () 時まで

問 23 あて名のお子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（ア、イごとにそれぞれ 1 つに○。また数字は一枠に一字。）

ア 年末 (12/29～12/31)	1 利用する必要はない 2 ほぼ毎年利用したい 3 年によって利用したい	} 利用したい時間帯 () 時～ () 時まで
イ 年始 (1/1～1/3)	1 利用する必要はない 2 ほぼ毎年利用したい 3 年によって利用したい	} 利用したい時間帯 () 時～ () 時まで

◆ 問 24 は、問 15-1 で現在「幼稚園を利用されている」とお答えの方にはうかがいます

問 24 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（1 つに○。また数字は一枠に一字。）

1	利用する必要はない
2	休みの期間中ほぼ毎日利用したい
3	休みの期間中週に数日利用したい

} 利用したい時間帯 () 時～ () 時まで
--

(案)

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます



◆問 25 は、平日の定期的な教育・保育事業(問 15 (6 頁))を「1 利用している」とお答えの方に
うかがいます

問 25 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことは
ありますか。(1 つに○)

1 あった (→問 25-1 へ)

2 なかった (→問 26 へ)

→問 25-1 どのように対処しましたか。⇒この 1 年間に対処した日数もご記入ください。(あてはまるものす
べてに○。また数字は一枠に一字)

※半日程度の対応も 1 日とカウントしてください。

1 父親が仕事を休んだ } (→問 25-2 へ)

2 母親が仕事を休んだ }

3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

4 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた

5 病児・病後児の保育を利用した

6 ベビーシッターを利用した

7 ファミリー・サポート・センターを利用した

8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

9 その他 (

年間 日

年間 日

年間 日

年間 日

年間 日

年間 日

年間 日

年間 日

年間 日

→問 25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。「1 .
できれば利用したい」と回答した方は、日数についてもご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつ
け医の受診が必要となります。(ア、イごとにそれぞれ 1 つに○。また数字は一枠に一字)

ア 施設型(保育園や病院等で実施して
いる病児・病後児保育)

1 できれば利用したい⇒ 日

2 利用したいとは思わない (→問 25-3 へ)

イ 訪問型(ヘルパーや看護師による居
宅訪問型保育)

1 できれば利用したい⇒ 日

2 利用したいとは思わない (→問 25-3 へ)

◎病児・病後児保育とは…

認可保育園等に通っている乳幼児が、病気や病気の回復期などで集団保育が適当でない時期に、専用施
設等で一時的に預かる事業。満 1 歳から就学前の子どもが対象。豊島区は、保育所併設型と医療機関併設
型、居宅訪問型があります。有料。

問 25-3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから

2 施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから (施設型の場合)

3 自宅に来てもらうことに抵抗があるから (訪問型の場合)

4 利用料がかかる・高い

5 利用料がわからないから

6 親が仕事を休んで対応できるから

7 その他 (

)

(案)

【すべての方にうかがいます】

問 26 豊島区の訪問型病児・病後児保育について知っていますか。(1つに○)

- 1 知っており、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない



◎ 訪問型病児・病後児保育とは・・・

認可保育施設等に在籍するお子さんが病気や病気の回復期などで登園できない時に、民間のベビーシッター事業者等がご自宅へ出向き、保育を実施する事業。利用料の一部を区が助成します。

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う 一時預かり等の利用についてうかがいます

問 27 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不定期の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不定期に利用している事業はありますか。⇒ある場合は、あてはまる番号すべてに○をして、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字） (年間)

1	一時預かり (私用など、理由を問わず、保育所や子ども家庭支援センターなどで一時的に子どもを保育する事業)			日
2	幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)			日
3	ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)			日
4	夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設などで休日・夜間に子どもを保護する事業)			日
5	ベビーシッター			日
6	その他 ()			日
7	利用していない			

問 28 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字）

1	利用したい (計)	年間計			日
2	私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的				日
3	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等				日
4	不定期の就労				日
5	その他 ()				日
6	利用する必要はない				

(案)

問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。⇒あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの泊数もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字）

1	あった			
2	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった			泊
3	短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを養育する事業）			泊
4	3以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した			泊
5	仕方なく子どもを同行させた			泊
6	仕方なく子どもだけで留守番をさせた			泊
7	その他（ ）			泊
8	なかった			



**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学生就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます**

⇒5歳未満の方は問32へ

◎子どもスキップとは・・・

小学校施設[教室・体育館・校庭]等を活用して、全児童を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開し、自主的な参加のもとに遊びを通して子どもたちが交流を広げる事業です。

「子どもスキップ」では、「学童クラブ登録児童」と学童クラブ登録児童以外の「一般児童」が交流することも目的のひとつになっています。

◎学童クラブとは・・・

保護者が就労等により放課後家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

◎放課後子ども教室とは・・・

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や区民ひろばで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験してもらう取り組みです。子どもスキップに利用の届出をしている小学生（区内在住、または当該小学校に在学の小学生）が利用できます。

子どもスキップ

一般児童（1年生～6年生）

学童クラブ登録
児童

問30 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字）

1	自宅	週に		日くらい	
2	祖父母宅や友人・知人宅	週に		日くらい	
3	習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	週に		日くらい	
4	子どもスキップ※	週に		日くらい	
5	放課後子ども教室	週に		日くらい	
6	学童クラブ	週に		日くらい	⇒下校時から 時まで
7	区民ひろば	週に		日くらい	
8	ファミリー・サポート・センター	週に		日くらい	
9	その他（図書館、公園など）	週に		日くらい	

※子どもスキップ内で実施している学童クラブを希望する場合は、6に回答

(案)

問 31 あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。⇒あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一律に一字）

*かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1	自宅	週に		日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週に		日くらい
3	習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	週に		日くらい
4	子どもスキップ※	週に		日くらい
5	放課後子ども教室	週に		日くらい
6	学童クラブ	週に		日くらい ⇒下校時から 時まで
7	区民ひろば	週に		日くらい
8	ファミリー・サポート・センター	週に		日くらい
9	その他（図書館、公園など）	週に		日くらい

※子どもスキップ内で実施している学童クラブを希望する場合は、6に回答

子育て全般についてうかがいます

問 32 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。（１つに○）

1	楽しいと感じることの方が多い	4	その他
2	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい		
3	辛いと感じることの方が多い	5	わからない

問 33 あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれにあてはまりますか。それぞれの項目ごとに１つだけ○をつけてください。（それぞれ１つに○）

ア 祖父母	1	日常的に支援してもらえる	3	支援はない
	2	緊急時には支援してもらえる		
イ 友人・知人	1	日常的に支援してもらえる	3	支援はない
	2	緊急時には支援してもらえる		

問 34 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。（１つに○）

1	感じたことがある	2	感じたことはない	3	わからない
---	----------	---	----------	---	-------

問 35 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。（３つまでに○）

1	子どもを持つ人自身が主体的に行う情報交換や交流・活動など
2	企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など
3	NPOが行う情報提供、イベント開催、子育て支援サービスの提供など
4	ボランティアによるさまざまな子育て支援サービスの提供など
5	町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など
6	隣近所の人が子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど
7	専門家による助言や学習会開催、地域の子育てネットワークの構築支援など
8	その他（

(案)

問 36 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人が多い方だと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1 多い方だと思う | 2 少ない方だと思う | 3 まったくない |
|-----------|------------|----------|

問 37 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 すでに参加している／参加したことがある |
| 2 参加していないが、将来、参加したい |
| 3 参加していないし、将来も参加しようとは思わない |

問 38 あなたは、保育所・学校の話し合い(たとえば PTA など)に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 参加している | 3 あまり参加していない |
| 2 ときどき参加している | 4 参加していない |

問 39 あなたの職場や地域など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人はいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

あなたご自身のことについてうかがいます

問 40 あなたは、自分が好きですか。(1つに○)

- | | | | |
|------|----------|-------------|----------|
| 1 好き | 2 だいたい好き | 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
|------|----------|-------------|----------|

問 41 あなたは、自分が周りの人から大切にされていると感じますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 そう思う | 3 あまりそう思わない |
| 2 だいたいそう思う | 4 そう思わない |

問 42 育児に関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1 病気や発育に関すること | 7 気軽に相談できるところがわからないこと |
| 2 食事や栄養に関すること | 8 区の子育て支援事業などに関する情報が入手しにくいこと |
| 3 遊ばせ方やしつけに関すること | 9 その他() |
| 4 子育てが精神的負担になっていること | 10 特にな |
| 5 仕事と子育ての両立に関すること | |
| 6 経済的な負担に関すること | |

問 43 育児に関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---|
| 1 配偶者(パートナー) | 9 子ども家庭支援センターの職員 |
| 2 兄弟姉妹 | 10 専門のカウンセラー(区の相談員など) |
| 3 親 | 11 育児書や雑誌・インターネットでの育児に関するホームページの相談コーナー等 |
| 4 隣近所の人 | 12 Twitter、フェイスブック、インスタグラムなど SNS 上の友だち |
| 5 職場の人や友人・知人 | 13 その他() |
| 6 保育園の先生 | 14 誰にも相談しない |
| 7 塾や習い事の先生 | |
| 8 子どもスキップの職員 | |

(案)

問 44 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 広報としま	6 子ども家庭支援センター
2 区のホームページ	7 子育てひろば
3 子育て情報ハンドブック	8 保健所・健康相談所
4 母と子の保健バック	9 知人・友人
5 保育所・幼稚園	10 その他 ()

問 45 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 母親や父親同士が集い、情報交換できる
2 子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる
3 その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる
4 家庭訪問して、相談にのってくれる
5 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる
6 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる
7 その他 ()

問 46 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。(1つに○)

1 保育園・幼稚園	4 子ども家庭支援センター
2 保健所	5 区役所・区民事務所
3 区民ひろば(子育てひろば)	6 その他 ()

問 47 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(3つまでに○)

1 子どもの病気や発育に関する情報	
2 子どもの食事や栄養に関する情報	
3 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報	
4 虐待防止に関する情報	
5 医療機関に関する情報	
6 子育てに関する相談窓口の情報	
7 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報	
8 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報	
9 小学校(区立、私立)に関する情報	
10 中学校など子どもの進路や進学に関する情報	
11 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報	
12 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報	
13 子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報	
14 ベビーシッターやホームヘルパー等自宅での保育サービスに関する情報	
15 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報	
16 駅や歩道橋等のエレベーター、エスカレーター設置に関する情報	
17 その他 ()	
18 特にない	

(案)

問48 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1 近所に公園や広場がない | 8 歩道の段差、陳列物、自転車などが通行の妨げになっている |
| 2 公園の遊具等が使いにくい | 9 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりやうるおいがない |
| 3 おむつ替えや授乳ができる場所がない | 10 歩道を自転車がスピードを出して走行する |
| 4 街なかにベンチ等の休める場所や設備がない | 11 公園や歩道での歩きたばこが不安である |
| 5 雨の日に子どもを遊ばせる場所がない | 12 その他() |
| 6 公園に不審者がいる等、安全面で不安がある | |
| 7 歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある | |

問49 あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 叩いたり殴ったりする | 4 世話をしなかったり、無視したりする |
| 2 心を傷つける言葉を言う | 5 子どもの前で配偶者等に暴力をふるう |
| 3 性的なことをしたり、させたりする | 6 その他() |
| | 7 ない |

『子どもの権利条例』や豊島区のことについてうかがいます

問50 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 知っている | 3 知らない |
| 2 聞いたことがあるが内容はよく分からない | |

問50-1 どのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 広報としま | 4 学校の先生の話 |
| 2 パンフレット | 5 子どもの話 |
| 3 豊島区のホームページ | 6 その他() |

問51 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 子どもの権利擁護委員 | 4 子どもの権利委員会 |
| 2 としま子ども月間 | 5 としま子どもの権利相談室 |
| 3 としま子ども会議 | 6 その他() |

問52 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。(5つまでに○)

- 1 母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実
- 2 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実
- 3 子育て期の生活環境・住環境の整備
- 4 子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備
- 5 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備
- 6 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実
- 7 小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備
- 8 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減
- 9 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実
- 10 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実
- 11 子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実
- 12 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実
- 13 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進
- 14 家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進
- 15 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進
- 16 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化
- 17 小中学生が、学校・スキップ・中高生センタージャンプ以外で安心して相談できる場と人の整備
- 18 子ども食堂、無料学習支援事業の充実
- 19 その他()

(案)

問53 あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにお答えください。(ア～クそれぞれ1つに○)

	うそ う 思	うそ少 うし 思は	えとど ない もち いら	い思あ わま なり	い思 わ な	なわ い か ら
ア. 子どもの権利※ ¹ を保障する 取り組みが進んでいる	1	2	3	4	5	6
イ. 子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5	6
ウ. 安心して子どもを産む環境づく りができている	1	2	3	4	5	6
エ. 職業生活と家庭生活を両立※ ² するための支援が行われている	1	2	3	4	5	6
オ. 子育てを視野にいたした住宅対策 や道路・施設整備が行われている	1	2	3	4	5	6
カ. 保育施設や幼稚園での保育・ 教育が充実している	1	2	3	4	5	6
キ. 学校教育が充実している	1	2	3	4	5	6
ク. 地域における子育て支援や見守 り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5	6

※1. 1989年に子どもの権利条約が国際連合で採択され、日本は1994年に条約を批准しました。「生きる権利／育つ権利／守られる権利／参加する権利」が、子どもの権利の柱となっています。

※2. 「職業生活と家庭生活を両立」とは、仕事と私生活の両方を重要視する考え方で、ワーク・ライフ・バランスとも呼ばれています。

問54 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1 住み続けたいと思う	4 住み続けたいと思わない
2 どちらかというに住み続けたいと思う	5 わからない
3 どちらかというに住み続けたいと思わない	

最後に、子育てに関して日頃お感じになっていることや悩みごと、あるいはお子さんを育てている上で気をつけていること、豊島区への要望事項等がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

11月16日（木）までにお近くのポストに投函してください。